

スローガン



新見商工会議所青年部 広報誌

発行◆新見商工会議所青年部(新見商工会議所内)

〒718-0003 新見市高尾 2475-7

TEL (0867)72-2139 FAX (0867)72-0347

編集◆総務委員会

第25号



商工会議所青年部の英語名(Young Entrepreneurs Group)
の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部
の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者
=Youth, Energy, Generalist)を表しています。

「この1年を振り返って」

平成24年度会長 加谷 幸登

活動報告

新見商工会議所青年部が創立20周年を迎える記念すべき年に1年間会長を務めさせて頂きました。「～力へ一歩前へ」のスローガンのもと、20周年記念事業をはじめ、地域活性化事業、対外交流事業等を会員一丸となって取り組んで参りました。

20周年記念事業におきましては、青年部会員をはじめ、多くの方の協力があり成功を収める事ができました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。記念事業に附隨して行いました新商品開発事業では、近年交流を深めております阿哲商工会青年部と合同で会議を重ね、「備中白小豆御茶」と「新見根菜汁いのしし味噌」の2つの商品の試作段階まで行うことができました。来年度以降において商品化目指して努力して参りますので、ご指導・ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

また、今年度は新規事業として、新見商工会議所青年部・阿哲商工会青年部・(一社)新見青年会議所の3団体合同で、新見市長石垣正夫氏をお迎えし、新見地域の青年経済人の資質の向上を目的とした「青年経済人の集い」を開催いたしました。行政だけに限らず、諸先輩方との意見交換を行う場として今後も継続していくければと考えております。

今年度の反省点といたしましては、会議や事業へ出席する会員が少ないことです。私の力不足というのもありますが、各副会長・委員長との連携をとり、各会員のメリットとなる事業をもっとおこなっていればと痛感しております。事業へ参加する事で、普段の仕事とは違った発見や考え方、人の繋がりが出てくると思います。来年度ではそのような事も念頭に置き事業を行っていただけたらと思っております。

最後になりましたが、新見商工会議所をはじめ関係各位のご協力のお陰で、24年度の事業を無事終えることができました。20周年という節目を迎え、21年目となる来年度では、会としてのさらなる飛躍が出来るよう努力を致しますので、今後ともご協力をお願いいたします。

平成24年度の活動を振り返って

副会長 生田 務

平成24年度商工会議所青年部、副会長を務めさせて頂きました。加谷会長を先頭に田原宰実行委員長と青年部が一致団結し20周年事業を無事成功におさめることができました。本当に皆さんご苦労様でした。また、担当した、まちづくり委員会の伊田委員長をはじめメンバーの皆さんにもお世話になりました。

そして、今年度県青連出向という大事な役目を任命されましたが、なかなか出席ができず申し訳ありませんでした。

最後になりますが、青年部メンバーには1年間お世話になりました。来年度もまた宜しくお願ひします。

副会長 田原 隆盛

20周年という大きな節目の年に副会長という大役をなんとか全うできたのも、小河委員長をはじめとする総務委員会の皆さん、そして同じ副会長をはじめとする役員の皆さん、そしてそれをまとめ上げた加谷会長のおかげです。今は感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

毎年、新たな気づき、新たな仲間との出会いを与えてくれるこの青年部活動にこれからも積極的に取り組んでいこうと思います。

副会長 中川 大祐

加谷会長のもと、会員親睦委員会担当の副会長を務めました。会員の親睦が主な委員会活動でした。また、阿哲商工会青年部様との合同で新見YEG創立20周年記念事業を井上委員長を中心に新商品開発メンバーの皆様と一緒に喧々諤々しながら「備中白小豆茶」と「いのしし汁」の試作ができました。今までに交流が無かった方々と知り合い、意見交換等ができたことが会員の財産になったと思います。

第3回 定例会・卒業式

去る平成25年3月26日、新見商工会館に於いて平成24年度卒業式を第3回定例会に併せて開催しました。

卒業式では卒業生3名の紹介及び在籍中の活動紹介を行い、卒業生3名に対し、加谷会長から送る言葉があり、引き続き卒業証書と記念品の授与がありました。その後卒業生から挨拶を頂き卒業式を終了しました。

その後出席者全員での写真撮影を行い、会場を移し卒業生を囲んでの懇親会を行い、在籍中の思い出に花を咲かせながら和やかな内に閉会し卒業生を送り出しました。



新見商工会議所 青年部 創立 20周年事業開催



去る平成24年10月15日に、新見商工会議所において、新見商工会議所青年部創立20周年式典を開催いたしました。式典には、新見商工会議所新中会頭、日本YEG尾山会長をはじめ、県下YEGの皆様、OBの先輩方に多数ご出席いただき盛会に開催することができました。



本郷軒涼遊斎による「西阿知の風」の記念講談や祝賀会での「備中神楽」なども行い記念式典・祝賀会を閉会いたしました。

また、20周年記念事業として阿哲商工会青年部と合同で新商品の開発を行い、土下座まつり会場と祝賀会でプレス発表並びに試食会を開催いたしました。試食会で行ったアンケートでは、県内外の来場者から多くのご意見をいただき、今後の商品化の参考へさせていただこうと思います。

20周年実行委員会 実行委員長 田原 宰

加谷会長のもと、20周年実行委員長を務めさせて頂きました、田原宰です。

県内の単会に新見ならではのものを見て頂きたいとの思いから、式典の日程を10月15日の土下座まつりの日に合わせ、山岡周年顧問をはじめ、倉脇、堀江両副実行委員長や会員のメンバーの皆様には、式典に向けての準備や新商品の開発等へご協力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、当日ご出席下さいました、会議所役員をはじめとする来賓の皆様、OBの先輩方、県下各単会の皆様当日は、ご多忙の折にも関わりませずご出席いただきありがとうございました。20周年の節目を迎え、今後も地域の発展を目指して努力を致しますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひいたします。



記念講談



試食会

委員会報告

総務委員会

総務委員会という真面目な委員会を任せていたいありがとうございました。一年間無事にやり終えたのは、西村、咲本両副委員長をはじめ委員メンバー、そして理事の皆様のおかげと大変感謝しております。

卒業の年に20周年の司会という大役をいただき、思い出深い一年となりました。これからも青年部で勉強したこと基にしっかりとがんばっていきますので、これからも宜しくお願ひいたします。【委員長 小河 俊文】

会員親睦委員会

1年間を振り返り、まず皆様にご支援ご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。本年度、加谷会長のスローガン『力～一歩前へ～』のもと、委員会の基本方針を『新たな会員親睦の取り組みを行い出席率の向上を目指す』とし、新たな事業を2つ行いました。

一つは新見商工会議所青年部会員のスポーツ懇親会、二つめは新見地区若手経済人の集いとして、新見商工会議所青年部・(一社)新見青年会議所・阿哲商工会青年部の3つの会が一堂に会し、新見市長をお迎えし、若手の情熱や思いをお伝えし、市長と若手経済人の懇親ができました。

また、20周年の記念すべき年に、記念事業として商品開発を担当させて頂き、阿哲商工会青年部と11回に渡る会議を重ね「備中白小豆御茶」「新見根菜汁 いのししが味噌」の試作開発を行いました。青年部と地域を愛する多くの皆様にご支援ご協力頂き完成いたしましたこと心より感謝申し上げます。

1年間大変ありがとうございました。【委員長 井上 富男】



まちづくり委員会

平成23年と平成24年にまちづくり委員会の委員長を担当させて頂きました。最初は戸惑いの連続でしたが、新見ふるさとまつり「星空屋台村」、にいみ土下座まつり「夢市場」、にいみ雛まつり「夢市場」などの活動の中で副委員長の橋本君、長谷川君そして会員のメンバーに支えられながらがんばってまいりました。いかにも地域の活性化に繋がったのではないかと思っております。

色々とご迷惑をかけましたが、皆様の協力のおかげで無事2年間を終えることができました。大変ありがとうございました。【委員長 伊田 久志】



卒業生紹介

●小林 義和 (S 37.12.7)

宗宏工業㈱ 代表取締役 (平成17年度入会)
平成17年度～18年度 研修ネットワーク委員会
平成19年度～20年度 企業がんばろう委員会
副委員長
平成21年度 副会長
平成22年度 副会長
平成23年度 会長
平成24年度 直前会長

●三輪 英俊 (S 38.3.24)

三輪刃物工場 代表者 (平成15年度入会)
平成15年度～16年度 総務はれ晴れ委員会
平成17年度～18年度 産業開発委員会
平成19年度～20年度 まちづくり委員会
平成21年度 まちづくり委員会
平成22年度 まちづくり委員会
平成23年度 まちづくり委員会
平成24年度 まちづくり委員会

●小河 俊文 (S 38.1.25)

小河製麺所 代表者 (平成22年度入会)
平成22年度 企業活性化会員親睦委員会
平成23年度 まちづくり委員会
平成24年度 総務委員会 委員長

編集後記

平成24年度で新見商工会議所青年部が創立20周年という大きな節目を迎えることが出来ました。

記念式典や新商品開発など、会員が一丸となり大きな事業を行ったことは会員にとって非常によい経験が出来たと感じております。

この経験を活かし、さらなる結束を高め、新見地域の活性化に貢献出来るよう努力して参りますので、今後とも宜しくお願ひいたします。

T.M